

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふあぶふあむ		公表日		令和8年3月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	9	・利用人数が増える分、職員もその分増えますのでその場合はスペース的にも狭いと思うことはあります。 ・日によって違うので必ずしも「いいえ」とは言えないが、動き回る子供や、体の大きい子供が多い日は、もう少しスペースが有った方が良いと思うことがある。	お世辞にも適切なスペースを確保しているとは言いが、引越しをするか物理的に部屋を拡張する以外に方法がありませんので、検討中です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		職員は多い方だと思います。日によっては職員が多い日もあり、その場合個別支援に力入れられたり、もう活動に工夫も必要かなと思います。	スペースの問題と関連しますが、スタッフの数が多くても、スペースを狭めている要因のひとつですので、一概にスタッフを増やすのもどうかと考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	・子どもたちが分かりやすく過ごせるように職員同士で話し合いながら工夫しています。 ・トイレの場所や、本当に入ってはいけない場所を子供達が理解しているので、子供にとってはわかりやすい環境になっているのではないかと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	・こまめに消毒、掃除は徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	5	・部屋は少ない方ですが、クールダウンできるように配慮したり工夫はしております。	工夫はできているが物理的な問題は物理的にしか解決できないと思っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	3	・会議がある時は職員全体に周知しています。	参加を促しているが参加していただけないスタッフもいます。会議への出席にも給与を支払っていますが、引き続き参加してもらえないように促し続けるしかありません。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	10	・第三者委員は設けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			行っております。 ですが、もっと色々な人の意見をきけるように工夫できたらと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2		・固定化については、寧ろそちらの方が好まれる事もあります。そうで無い事も両方あります。なので、固定化の是非云々より、子どものニーズや育ちに合わせた形で、活動を導入、展開される形が望ましいと考えます。 ・固定化することで、子ども達が自信もって取り組みめたり、また主体となって動けるようになるので固定化も必要と思っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	8		・状況により、当日または翌日に複数の伝達手段を各々使い分けて共有はされています。 ・支援終了後には行っておりませんが、翌日には行っております。必要に応じてLINEにて情報共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			・これらを念頭に置きつつ、子どもや保護者の個々の状況に応じて、柔軟に対応しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	1		
関	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			・参加された職員から、書面にて他職員への共有もなされています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11			・新一年生がいる時はその児童が通ってる保育園に見学に行っていました。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		・卒業生がいた年は、出向いでサービス利用前の会議に出席し、情報を共有しましたが、毎年卒業生はいません。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	4	・現状、助言をしていただける児童発達支援センターが大津市には存在しないので、設問の答えは「いいえ」になると思っています。放課後等サービスへ助言をしてもらえる児童発達支援センターの整備を、大津市障害者自立支援協会を通じて行政に働きかけています。 ・行政の方での体制作りが課題です。	・自立支援協会を通じて、解決へのアプローチを引き続き行います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	10	・外出時に会った人に緩く交流する程度です。	感染症対策のことを考えると、繁盛に交流する機会を設けるのもどうかと思いますので、年の1度くらいは地域の方々に参加してもらえるイベントができればよいと思っています。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	11		・放課後事業所連絡会の部会長を担っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等サービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等サービス計画の同意を得ているか。	11			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	9	・寧ろそういう会がある事で、保護者の皆様方のご負担に感じられる事がある為、施設主導では、特に設けてはいません。緩く、無理の無い形で保護者の方向士のやり取りは、して頂いております。	これに関しては、PTA問題や自治会必要ですか? 問題と通じるものがあると思っていますが、引き続き、皆さんの意見をうかがって、可能な方法を模索していきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	9	・行いたいですが、現状実施が厳しいです。どのような形ですと、双方無理無く行えるか? 今後の課題です。	3 2 番、4 0 番の課題と共通した認識を持っています。引き続き可能な方法を模索していけたらと思っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1	・指示書はない。だが食べ物アレルギーの有無は保護者に確認しており、注意している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1	・棚の上などに重たい物(部屋ではないが炊飯器、黄色いコンテナボックス)を積んでいるのが、地震等があった際、危険だと思う。	左に書かれている話は、子どもたちが普段はいる事のない部屋の話です。子どもたちが過ごすスペースの課題もありますので、物理的な問題は物理的にしか解決できないので、解決できるようにしていきたいと思っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	10	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11			